

2018年12月1日(土)災害対応訓練を実施しました

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、
もしも、多くの人が集まっている国立競技場や代々木体育館で爆発テロが発生し多くの患者さんが当センターに来たらどうする？

という想定のもと、渋谷区医師会をはじめとする近隣医療機関や消防・警察・海上保安庁など、多くの関係機関と一緒に災害対応訓練を行いました。



災害時用のカルテセットを準備



入口を1カ所にし、
トリアージを実施して
から各エリアへ搬送

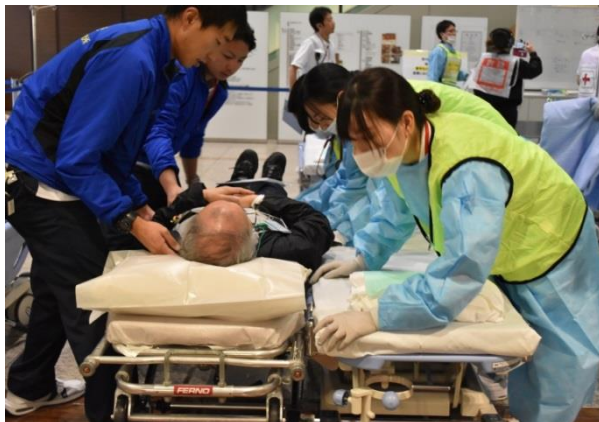


手荷物検査も実施





待合いエリアとなっている
1階アトリウムで
多数傷病者に対応





「放射性物質を含んだ
爆弾が爆発した！」
との情報もあり、
除染エリアを設置して
放射線量の測定など
も実施





海上保安庁の協力により、
ヘリによる患者搬送に備えた
離発着および
患者引継ぎの訓練も実施





時間	発生	受信	内容
8:55	救命	救命(9:00)	災害(9:00)→救命(本部)3F講堂 レベル3 DMAT要員 直轄Dr. N:1名 派遣 搬送予定 赤10名 黄30名 緑60名
9:07	消防	救命	爆発:代研併有館 ネットコントロールゾーン 養生半分終了 スクリーン表示開始
9:10	救命	本部	搬送予定人数ご連絡
"	防衛隊	"	養生完了 D2.No2. 救救4名 搬入開始
9:15	本部	各工IT	臨時基局設置完了
9:16	赤十字	本部	緑封本部設置完了報告
9:20	薬剤	"	OPE室の動き状況確認
"	本部	庶務M	当院の対応レベルの伝達(救院受入Drと連絡)
"	CTE室	本部林	
"	副広松尾	西村	

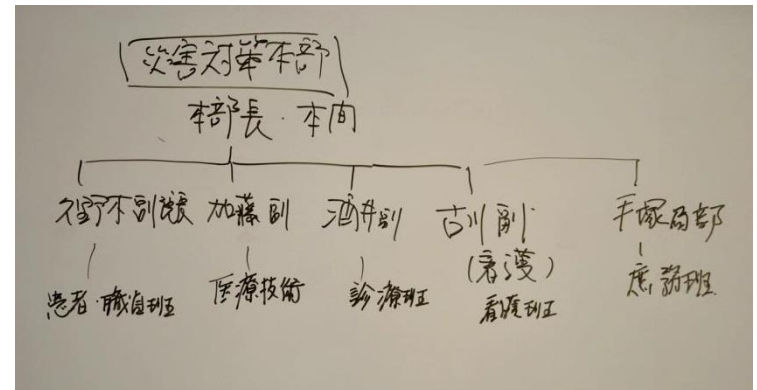


本部訓練では、院内全体の情報を集め、
受け入れ患者の手術・入院の手配、
および転院調整などを実施



他施設からの応援救護班到着報告

13/9:30
 <現在受付不可能な中 即座 対応人員>
 部長 3名
 N5 5名
 府脚Dr 3名





転院となる患者さんを迎えに来た
自衛隊中央病院の救急車



実際の記者の方からの
質問にも答える形で
記者会見訓練も行いま
した



奉仕団の方による炊き出し
ボランティア
訓練後、参加者全員で
カレーをいただきました

消防
養生や院内搬送
動線の評価もし
ていただきました



警察
交通整理だけでなく黒エリア(検視)も
ご協力いただきました



渋谷区
行政としての視点
で訓練にご協力
いただきました



自衛隊中央病院
転院搬送患者さん受入のため救急車を手配



東京都支部
救護班や炊き出し
ボランティアなど
100名程で参加



参加だけでなく、それぞれの視点での
講評もいただきました



都立広尾病院
医療対策拠点として
広尾病院にも
本部を設置しての訓練参加

ボランティア
患者役や炊き出し
ありがとうございました



参加者合計数:419名

(内訳 当センター職員:210名 外部参加機関関係者:175名 見学:34名)

さいごに

今回の訓練では、重症患者16名を含む100名以上の患者を治療することが出来ました。実災害ではこんなにうまくいかないと思いますが、想定以上にスムーズな診療が出来ていたように思います。

院内のみならず、都立広尾病院に設置された医療対策拠点を中心として自衛隊中央病院への転送を調整したり、渋谷区災害対策本部を通じて警察などの関係機関と情報共有したり、消防と連携したりすることもできました。

さらに、当センターとしてはヘリポートの離発着訓練が実施できたことも搬送手段の確保に置いて極めて有用でした。

ただし、本部との連携など、課題はまだまだ多くあります。

今後も日本赤十字社の本社直轄病院として、また、地域の災害拠点病院として日々研鑽を重ね、来るべき災害に向けて万全を期したいと思います。

※訓練実施にあたりご理解・ご協力をいただいた近隣住民の皆様、訓練にご参加いただいた関係各機関の皆様、見学にお越しいただいた皆様、ご協力いただいた企業等の皆様に厚く御礼申し上げます。